

令和6年度 学校経営構想

I. 学校教育目標

『 未来に向かって ひとみかがやき 笑顔あふれる 乃木っ子の育成 』
～ かしこく つよく やさしい子 ～

○基本方針 教育基本法、学校教育法、しまね教育魅力化ビジョン、松江市教育大綱、「まつえ湖南学園共通教育目標、そして学習指導要領の趣旨を踏まえ、保護者や地域の願いを受けながら、児童や学校、時代の変化に即した魅力ある教育の推進に努める。

II. めざす姿

○めざす児童像

- ・かしこい子（知）・・・・・・「未来に向かって」
- ・つよい子（体・耐）・・・・・・「ひとみかがやき」
- ・やさしい子（徳）・・・・・・「笑顔あふれる」

《 3つの柱と期待する姿 》

「 顔晴れ 」 ・ ・ ・ ・ ・ “ 声出せ 汗出せ 知恵を出せ ”

1. 未来に向かって ・ ・ ・ ・ 「かしこく」

＜確かな学力を身につけ、知恵を働かせて自分で行動する子ども＞

- ・主体的に学ぼうとする意欲がある
- ・獲得した知識を活用して適切に判断し、生活をより良くしようとする
- ・自分の思いを生き生きと表現できる

2. ひとみかがやき ・ ・ ・ ・ 「つよく」

＜たくましい心と体をもち、ねばり強く取り組む子ども＞

- ・運動に親しみ、進んで体を動かしたり多様な動きを経験したりする
- ・健康・安全を意識し、望ましい生活習慣を定着する
- ・思い通りにならなくてもくじけずに、立ち直り挑戦し続ける

3. 笑顔あふれる ・ ・ ・ ・ 「やさしい」

＜思いやりをもち、集団の中で助け合える子ども＞

- ・誰とでも温かい気持ちで接し、やさしくふるまえる
- ・自他を大切に、多様性を認め合い相手の立場を考えて協力し合える
- ・明るいあいさつや返事ができ、まわりの人に感謝の気持ちをいだく

○めざす学校像

～伝統を受け継ぎ、めざすところを共有した家庭・地域との連携～

- ・安心して学べる学校 ・ ・ ・ ・ ・ 子どもが「行きたい」 と思う
- ・信頼される学校 ・ ・ ・ ・ ・ 保護者が「通わせたい」 と思う
- ・よさが発揮できる学校 ・ ・ ・ ・ ・ 地域が「応援したい」 と思う

○めざす教職員像

～働きやすく働きがいのある職場～

- ・笑顔で協働できる教職員
- ・信頼を築き、温かい人間関係を育む教職員
- ・学び続ける教職員

Ⅲ. 学校経営の重点

1. 未来に向かうために

- (1) 対話を通じた合意形成能力の基礎の育成
 - ①人の話をしっかり聴こうとする学習に向かう構えの定着
 - ②相手にわかりやすく伝わる表現を駆使して、自分の思いを正しく発信する機会の重視
 - ③お互いの考えの共通点を見いだし、新しい考えを作り出す力の育成
- (2) 学力向上に向けた学習環境の工夫
 - ①仲間とともに自ら学び、達成感（学びの実感）がもてる授業づくり
 - ・指導内容の明確化（導入や課題設定の工夫）
 - ・個に応じた指導の充実（T T）
 - ・深まりのある話し合い活動（表現する場）
 - ・高学年を主とした授業の教科担任制
 - ・I C T機器の有効活用
 - ②図書館活用教育の推進
 - ・読書センター機能、学習・情報センター機能の充実
 - ③家庭学習の習慣化・定着
 - ・学年相応の学習時間の確保（「家庭学習の手引き」作成）
 - ・学習内容の充実（自学ノート、タブレット等の効果的な活用）

2. ひとみかがやくために

- (1) 「体づくり」を通じた健康・安全教育の推進
 - ①「体力向上推進計画」をもとに、体育授業を核とした日々の取組
 - ②給食を活用した食育の充実
 - ③メディアにかかわる家庭との連携
 - ④子どもの危機管理意識の高揚
- (2) 郷土愛を育むふるさと教育の推進や体験活動の充実
 - ①地域コーディネーターとの連携した教育資源「ひと・もの・こと」の積極的な活用
 - ②保幼小、小中との一貫教育（縦のつながり・横のつながり）の推進
 - ③学校行事や児童会活動・異学年交流を通じた自己有用感の醸成

3. 笑顔あふれるために

- (1) 自他を大切に、互いの良さを認め合える集団づくり
 - ①個々の自尊感情を高める関係づくり
 - ②「いじめ」を許さない毅然とした風土の醸成
 - ③特別支援教育の視点に立った教育的ニーズを踏まえた適切な関わり
- (2) 子ども理解に基づく多方面からの支援
 - ①子どもと共に過ごし、触れ合う時間の確保
 - ②教職員の情報共有と子どもを取り巻く背景を踏まえた組織的対応
 - ③一人一人の居場所を大切にしたいきめ細やかな教育相談の実施

4. 家庭・地域との連携を強化するために

- (1) 学校からの情報発信
 - ・授業公開、学校だより、ホームページ、緊急のすくーるメール、学年・学級だより、各分掌からのたより（保健室だより、図書館だより、生徒指導だより等）
- (2) 保護者面談、家庭訪問、電話連絡等によるきめ細かな連携
 - ・普段の挨拶・言葉がけ等、日常の良さを認め合うことを大切にした信頼関係の構築
- (3) 関係機関や地域との協働
 - ・まつえ湖南学園、乃木教育会、乃木地区自治会、乃木公民館など、地域の関係団体や関係機関との協働